

～特二式内火艇カミ(Type 2 Amphibian Tank)～



[せっかくなのでいろいろ比べてみます。米軍の DUKW(←)、ドイツ軍の LWS(↓)と]



本車両は、日本海軍が開発した水陸両用戦車です。1941年に試作車が完成しています。前後に舟形フロートを装着して上陸作戦を行う目的で製作されました。戦争末期、フィリピンなどで実際に使用されようです。どれくらいこの車両が戦闘に有効であったか寡聞にして私は知りませんが、その技術的なコンセプトはユニークです。「空中戦艦」「殺人光線」などファンタジー要素を含んだメカは戦前の少年冒険小説にも描かれていたようですが、これらがあってこそ戦後の特撮の隆興だと思います。良くも悪くも、この水陸両用戦車には同じ香りを感じます(笑)。

【模型について】

ポーランドの ARMO 製 1/72 のレジンキットです。とても不思議なのですが、ポーランドには我々日本人が持っている以上の日本軍の資料があるようで、私は、ポーランドのこのキットからこの車両のディテールを知りました。フロート/本体は別パーツなので、ネオジム磁石を埋め込んで分離自在に作ってあります。(中川裕幸 2022年10月)

